

第30回 印西市民文化祭 オープニング

伝統文化親子教室成果発表

日時：令和7年11月1日（土）開場 10:30 開演 11:00

会場：印西市文化ホール（電話：0476-42-8811 住所：千葉県印西市大森 2535）

申込み：不要（当日直接会場にお越しください）

※入場無料 どなたでもご覧いただけます。



邦楽邦舞子ども教室 こつつみ 小鼓 成果発表 / 特別出演 ねのいろ



特別出演：ねのいろ

教室に参加した小学生・保護者の皆さまが成果を発表します。

発表曲：「雛鶴三番叟」「上を向いて歩こう」

教室の講師である島村聖香先生をはじめ、多方面でご活躍されている「ねのいろ」（唄・三味線・笛）の先生方の演奏を是非この機会にご覧ください。



教室の練習風景

神楽子ども教室成果発表 / 特別出演 やまと 大和神楽保存会



特別出演：大和神楽保存会

教室に参加した中学生10名の皆さまが成果を発表します。

発表演目：「おのころ島起源」ほか

指導にあたった大和神楽保存会の皆さまによる古くから伝わる伝統的な神楽の舞を披露します。



教室の練習風景

主催：印西市教育委員会

【お問い合わせ先】文化振興課

TEL：0476-33-4836

印西市民文化祭は、今年で30回目の節目の年となります。

これまで、多くの方が日頃の成果を発表していただき、この時期の代表的なイベントとなっています。また、今年は次代を担う子どもたちに、より身近に伝統文化に触れる機会の一環とした、「伝統文化親子教室」を開催しましたので、その成果を皆様に発表します。ご指導いただいた先生の特別公演も併せて行いますので、皆様のご来場をお待ちしております。

ほうがくはやし

邦楽囃子について

邦楽囃子とは、江戸時代から歌舞伎の世界で発展し、引き継がれてきたお囃子です。笛や小鼓、太鼓などの様々な楽器を扱い、お芝居や踊りの中で情景や心情なども表し、曲を盛り上げます。

島村聖香（小鼓講師・打物）

広島出身。桜間彦十郎師に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同大学大学院音楽研究科修了。在学中、宮中桃華楽堂に於て御前演奏。現在同大学非常勤講師。お座敷唄を山本ゆきの師に師事。サントリーホール主催デビューコンサート・新派公演・板東玉三郎「日本橋」公演・片岡愛之助システィーナ歌舞伎・松尾スズキ舞台・NHK歌謡ショー・大河ドラマ・朝ドラ「らんまん」・上海万博などで海外公演。古典から現代曲まで幅広く演奏活動する傍ら、学校公演ワークショップなど邦楽器や伝統音楽の魅力を伝える事にも力を入れている。聖和会主宰。音緒乃会所属。ねのいろメンバー。邦楽囃子桜間会会員。日本音楽集団団員。

ねのいろプロフィール

三味線奏者・山本ゆきのプロデュースによる女性和楽器ユニットとして2010年結成。細棹三味線の繊細で華やかな「音」、曲や演奏者の「色」を大切にし、古典曲から現代曲、オリジナル曲を中心に多彩な「音の色」を奏でる。また、和洋様々なアーティストたちとのコラボレーションも積極的に行い、今に面白い和楽器の世界を展開している。2020年には『和楽器アレンジスコア no. 1-8』を企画制作。和洋様々な名曲をアンサンブルとして演奏できる画期的な和楽器スコア集となっている。

2022年より日本橋にて和楽器体験教室「ねのいろランド」を開講。三味線、笛、小鼓をアンサンブルの形で幅広いジャンルを楽しく学べる教室としてこれまでに300名以上が受講をしている。株式会社時代村の所属アーティストとしても活動を行っている。



山本ゆきの (唄・三味線)



大友美由奈 (唄・三味線)



石高万紀子 (笛)



島村聖香 (打物)



ねのいろHP

とみじんじゃ かぐら

鳥見神社の神楽について（千葉県指定無形民俗文化財）

毎年10月17日に中根地区の鳥見神社例大祭に神楽殿で演じられ、大和神楽、十二座神楽と呼ばれ、大和神楽保存会により伝承されています。起源は室町時代の文安年中（1444～1449）から始まったと伝えられ、現在使われている16の面の大半に宝暦元年（1751）作の銘が入っています。

内容は「捧幣式」「かため巫女」「かため翁の神」「国かためくなどの神」「五穀祖神種蒔」「千箭発弓」「海上めきょう楽」「神剣宝鏡」「榊笹行事」「天狐乱舞」「おのころ島起源」「出雲国しずめ」「山神悪鬼徐伏」「宮殿作行事」「天岩戸前事」「大神宮」からなり、神代の物語と郷土の農耕生活を反映したものとなっています。

千葉県指定無形民俗文化財【指定年月日】昭和36年6月9日

【伝承地】印西市中根1339（鳥見神社）

